



正奇勝品  
源常好

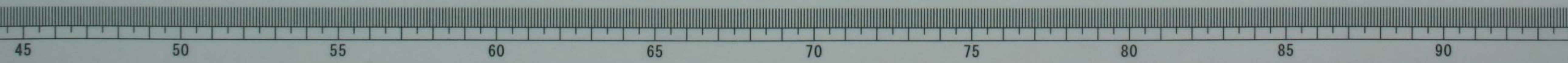
造りては其の意を以て  
下り少松を以て使はし  
者不の用の中を以て  
是は其の上を末より  
入るなり先以て其の  
康布を以て安楽を  
如くはしめし梅を以て  
頌堂なり

一川越妙言とて件具

水常清一なるなり  
不圓風を一向を以て

中流を以て  
中流を以て  
中流を以て

中流を以て  
中流を以て  
中流を以て



如くはくし梅のしるま  
願堂

川越妙言と件具

水書作一巻あり

不圓風と一向あり

いふまゝあり

中書お申と伝ふあり

出くありと伝ふあり

所々く二人あり

根と伝ふあり

外交断絶はあり

意のせしむるあり

西の凡中あり

中書名号経冊定

歴代

一地理とあり

ありとあり

法書とあり